

第12回大学コンソーシアム八王子学生発表会の開催について

大学コンソーシアム八王子
産学公連携部会
学生発表会ワーキンググループ

学生発表会は、加盟校の学生がゼミや研究室等における学びの成果を誰もが発表できる場です。しかしながら、加盟校において学外活動制限が設定されている場合があり、従来通りの学生発表会における発表方法のみでは、誰もが発表できる場を確保できない状況にあります。加盟校における対応が異なることに加え、多くの学問分野に対応する多様な発表方法を採用する本会では、オンラインのみの開催は、不適当であるとの判断に至り、別紙「令和2年度 大学コンソーシアム八王子学生発表会 開催方法」のように従来の発表方法（口頭発表、ポスター発表、展示発表）に、オンラインによる口頭発表を加えて開催することに決定しました。さらに、会場開催（対面方式）における感染防止および、オンライン開催におけるセキュリティ等の考慮に加え、研究活動が十分にできない中での予備的・中間的なデータの開示を含む発表となる可能性も配慮し、1つのセッションの参加者は、同じセッションの発表者および指導教員、座長・審査員等に限定します。それに伴い、質疑応答等は、同セッションに参加する発表者と座長・審査員で行うものとします（事前に要旨等の資料を送付し、学生には事前に質問等を行う発表を指定します）。

なお、学園都市センターを会場とする対面方式の発表（口頭発表、ポスター発表、展示発表）の実施にあたり、「新型コロナウイルス感染症禍におけるMICE開催のためのガイドライン」（一般社団法人 日本コンベンション協会）と八王子市学園都市センターの使用基準に基づき、別紙「会場開催の安全対策について」の安全対策を実施します。そのため、来場する発表者も、1名または2名に制限します。また、加盟校において学外活動制限の状況が開催日直前まで変動する可能性を考慮し、申込完了後も事務作業（指定討論者と座長・審査員への要旨等の資料を送付）の限界（詳細な日時は後日決定）まで、発表方法の変更を認めるものとすることで、学生の発表機会をできる限り確保できるように対応します。

コロナ禍により、例年のような発表環境を整えることができない状況ですが、課題の1つとして挙げられていた学生の質疑応答への参加について、新しい試みを行うことになりました。産学公連携部会ならびに、学生発表会ワーキンググループでは、「コロナ禍だからできない」ではなく、「コロナ禍だからできるチャレンジ」の姿勢で学生発表会を運営してまいります。十分に研究・調査活動ができる状況だと思いますが、学生発表会は、得られた部

分的な成果・提案等を発表できる「学生の学びの場」です。学生の皆さんには、積極的にエントリーいただくとともに、指導教員の皆さんには、学生への積極的な参加をご指導いただきたく、お願い申し上げます。